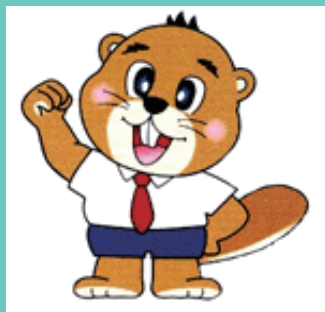




H27.10.15

田村たくみ県議会だより Challenge Spirit

～チャレンジ スピリッツ～

vol.58

Challenge Spirit とは・・・

直訳で「挑戦する精神」。一度志を抱いたならば、一度の挫折を苦とせず糧とし、常に挑戦する気持ちで前向きに頑張っていく「田村たくみ」の精神を表したものだ。

平成27年9月定例県議会特集！ 是々非々の議論で行政のチェック機能を発揮！

謹啓 仲秋の候、皆様方に於かれましては健やかにお過ごしのことと、お喜び申し上げます。平素は、私の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、9月24日から10月15日までの22日間の日程で、埼玉県議会9月定例会が行われました。慎重審議の末、「平成27年度一般会計補正予算（第2号）」など知事提出議案11件については、原案通り可決、また、6月定例会から継続審査となっておりました「介護保険法施行条例の一部を改正する条例」については、一部を修正し可決、成立致しました。更に、「平成26年度埼玉県一般会計及び特別会計決算の認定について」、「平成27年度埼玉県公営企業会計決算の認定について」は、特別委員会を設置し、閉会中の継続審査となりました。

また、国に於ける「まち・ひと・しごと創生法」の成立を受け、今年度中に策定を求められている埼玉県の総合戦略策定に向け閉会中に審議が行えるよう「まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会」を設置致しました。新型交付金を受けれるなど、これからの埼玉県に重要な総合戦略となります。慎重に策定作業を行って参りたいと存じます。

更に、議員提出議案として、県議会議員の費用弁償の額を改正しようとする「埼玉県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」が、6月定例会から継続審査となっておりましたが、賛成少数により否決されました。賛成討論では、「県民に寄り添わない」などの意見が述べられましたが、これまで議員の身分に関する問題は、各会派代表が集う任意機関で協議して参りましたが、唐突に提出された同条例には、議員間の意思の齟齬が見られた結果となりました。宿泊規定など、具体的に整理をしなくてはならない不備も多々ありますし、秩父地域など遠距離から登庁される方々への配慮も見られないものであり、会派の世論迎合（パフォーマンス）みたいな感が否めないものであります。もしも、本気で当該条例提案の目的を考えているなら、賛成者達が率先して供託なり自主返納なりを行えばパフォーマンスも具現化に近づいていくのではないかと感じた次第であります。

この他にも、議員派遣の議案2件を可決。また、警察官による殺人事件の発生や熊谷での連続殺人事件における捜査状況の疑義など、相次ぐ不祥事を鑑み「警察官の綱紀粛正等を求める決議」など、意見書・決議を7件可決致しました。

いづれにしても、いろいろ慌ただしい議会でありました。人事案件など、新たな議会の方向性を示すなど、議会運営委員長として、円滑な議会運営に努め、無事に議会が閉会できました。関係各位のご協力に感謝申し上げます。

今後も、県政推進・地域発展のために、様々な施策に挑戦して参ります。皆様の更なるご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。季節の変わり目となって参ります。お体ご自愛の上お過ごし下さい。



議会運営委員会の様子。中央が議事を進行する田村委員長

埼玉県議会議員 田村たくみ

地方創生総合戦略・行財政改革特別委員会視察！

===義肢装具の研究開発・製作を行う「中村ブレイス」を訪問===

中村ブレイス㈱は、中村俊郎現社長が昭和57年に創業した義肢装具メーカーであり、人口400人余りの地域で80人もの義肢装具士を雇用しています。同社が開発・製作した義肢装具は、日本国内のみならず、世界各地で使用され、世界中から毎日のように感謝の手紙が届いているそうです。平成3年には「メディカルアート研究所」を設立し、シリコンゴム製の乳がん術後用人工乳房や、身体の欠損や損傷を補正する装具の研究開発・製作を行っています。今回見学した義肢装具は、指紋や皮膚から血管が浮き上がって見える様子まで再現されており、近くで見ても本物としか思えないほどよく作られていました。同社は、このようなオンリーワンの技術を持つことで、都市部から遠く離れた地域に立地するにもかかわらず日本有数の企業となり、地域に雇用を創り出しています。

また、同社は、事業を通じた社会貢献活動が高く評価されており、多くの賞を受賞しています。平成20年には、過疎地域で若者を育てながら、独自技術による義肢装具製作の分野で世界的な優良企業となっていること、世界遺産に登録された石見銀山の街並み再生や資料館の整備など様々な社会貢献活動を行っていることが評価され、渋沢栄一賞を受賞するなど、本県ともゆかりのある企業であります。

地方創生の先駆けとして様々な取り組みを行っており、今後の県の施策に反映して参りたいです。



中村ブレイス本社前にて委員会メンバーと



人工乳房の作業現場を見学

写真で見る活動報告！



自民党青年局台湾研修にて馬総統と懇談



チャイルド・ケモ・ハウスを視察



加古川総合保健センターを委員会にて視察

田村たくみプロフィール

埼玉県議会議員（3期）

- ・南6区（さいたま市見沼区）選出
- ・埼玉県議会議会運営委員会 委員長
- ・福祉保健医療委員会 委員
- ・地方創生・行財政改革特別委員会 委員長

昭和46年10月15日生まれ（44歳）

- ・さいたま市立海老沼小学校 卒業
- ・さいたま市立片柳中学校 卒業
- ・埼玉県立川口青陵高等学校 卒業
- ・放送大学教養学部 卒業
- ・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 修了（公共政策修士）

主な経歴及び役職

- ・自民党青年局中央常任委員会 副議長
- ・自民党埼玉県支部連合会 青年局長
- ・自民党さいたま市見沼区支部 支部長
- ・日本会議地方議員連盟 副幹事長
- ・一般財団法人日本教育再生機構 運営委員
- ・さいたま市大宮野球連盟 副会長
- ・一般社団法人埼玉スポーツ振興会 会長
- ・社会福祉法人希求会 理事 等



県政のこと、身近なこと、何でもお気軽にご相談ください！お問い合わせは、「田村たくみ」事務所まで…！

埼玉県議会議員 田村たくみ 事務所

〒337-0042 さいたま市見沼区南中野457-15 e-mail: info@takumi-tamura.jp

電話：048-681-0005 FAX:048-681-0006

ホームページ <http://www.takumi-tamura.jp>

